

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (13 4)

団体名	(一社)パートナーズ	代表者名	(職名) 担当理事	(氏名) 河野真紀
事業名	ひょうご・こどもコミュニティラボ			

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等 で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
第4(水) 計11回	市営兵庫駅西 住宅第二集會 所	66名 33名	ロボットプログラミング教室
5/18.7/20.9/ 21.11/16.1/1 8	FMわいわい	25名 15名	コミュニティラジオ番組制作(わいわいキッズラジオ)

< 効果と成果 >

ロボットプログラミング講座の受講により、パソコンやプログラミングと情報リテラシーの基礎を習得しました。

主体性をもちゲームやロボット操作の制作意欲が高まり、個々のスキルアップはもちろん、チームワークの体験を通じた社会性や協調性の向上がみられました。その成果として、さらにステップアップした学びを継続したいという新たなチャレンジへの意欲が見られました。

コミュニティラジオ番組制作では、パーソナリティーへのチャレンジにとどまらず、トークテーマやクイズコーナー等の企画考案も行いました。またYouTube配信用の動画のスイッチング、スライド制作、タイムキーパー、音源やマイクの切り替え等音響ミキサー操作も習得しました。

少人数ではありますが、個々に寄り添った支援を継続することにより、こどもたちと関わる大人達、地域の方との深い信頼関係ができました。

< 今後の展望 >

小中学校では一人一台端末の貸与が進み、2020年からのプログラミング必修化や2025年から大学入試共通テスト「情報」にプログラミングが入るなど、こどもたちを取り巻く社会の変化により、今後求められるIT・WEBスキルや能力に大きな変化が起きています。

しかし学校現場では十分に対応が追いついておらず、家庭環境や経済格差、貧困の連鎖等により、だれもが等しく学習支援を受けられる環境が整っていない現実があります。またスペックが不十分で、制限も多いことから、こどもが主体的に好奇心をもって自由に使えるPCにはなっていません。ゲームを一方向的に遊ぶだけでなく、主体的なクリエイティブ(制作)する好奇心と

意欲を引き出し、これまでのロボットプログラミングにとどまらず、最新の生成AI（ChatGPT, Gemini, GAMMA）の活用や、ロボックスを使った3Dゲーム制作の学習機会を提供し、自分の作品発表を通じて、プレゼン力も鍛えていく機会を新たに創っていきたいと願っております。

<収支決算書>
(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	350,000
自己資金等	5,200
合 計	355,200

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	講師謝礼	225,000	225,000
	材料費	8,000	8,000
	制作費	110,000	110,000
	その他(雑費等)	12,200	7,000
	小 計	355,200	350,000
間接経費(一般管理費)		0	0
合 計		355,200	350,000